

「関心・態度」の評価に関する研究

本研究は、「学習指導と評価に関する研究」の第2年次の研究であり、「関心・態度」の評価の在り方を追究したものである。

第I部は、教育評価についての文献及び先行研究をもとに、実践研究のための理論を構築し、実践研究のための手続きを確立した。

第II部は、研究のための理論をふまえて、小学校社会科の小単元を例に検証授業を行い、その分析・考察を通して、観察法、自己評価法による「関心・態度」の評価の在り方を明らかにした。